

DAYTONA®

第53期 2024年12月期
第2四半期
決算説明資料

株式会社デイトナ
東証スタンダード 7228

2024年8月8日



© DAYTONA CORP.



2024年12月期2Q決算説明

第2四半期決算のポイント

DAYTONA[®]

2024年12月期2Q実績

- 国内販売は第1四半期はコロナ禍終焉以降の個人消費の多様化により、二輪用品の需要も控えめであったが、第2四半期の4月以降は徐々に回復、一方インドネシアでの販売は引続き好調に推移し、国内での売上減を補った結果、前年同四半期比で売上1%増となった。利益面は円安による仕入コスト増による利益率低下や人件費等の販管費増により、営業利益は13%減、経常利益は8%減、中間純利益は4%減となった。
- 国内拠点卸売 4月以降はシートバッグ、エンジンガード、ボディーカバー、プロテクター等の販売が好調で売上は昨年を上まわりましたが、第1四半期のマイナスをカバーするに至らず、前年同四半期比で売上18%減、セグメント利益4%減となった。
- アジア拠点卸売 インドネシアでの販売網整備や商品供給拡大とともにブランド認知が進み、第2四半期も予算を超え、前年同四半期比で売上69%増、セグメント利益77%増となった。
- 小売事業 ユーザー消費行動変化による来店客数減少や高額カスタムニーズ減少により、第1四半期と比べ復調ながらも売上減少。バイク用品取付や修繕等のサービス需要の高まりに対応するため、PIT作業増強体制の構築を行なった結果、前年同四半期比で売上3%減、セグメント利益23%減となった。
- その他事業 太陽光発電事業は安定的日照量を確保、リユース事業は高利益率商品の販売強化や販売促進費等の抑制により利益率を確保し、結果、前年同四半期比で売上3%減になったものの、セグメント利益45%増となった。

決算概要

DAYTONA[®]

売上高は国内の回復が遅いが1Qと比較し復調基調。インドネシア売上好調により、結果、前四半期比1%増。

営業利益は円安による仕入コスト増や販管費増により13%減益。

業績予想比では、営業利益率は1%減少したが、それ以外の指標は想定通りに推移。

単位：百万円	2022年 12月期 2Q		2023年 12月期 2Q		2024年 12月期 2Q				
					業績予想(2月公表)		実績		前四半期比
売上高	6,971	100%	6,745	100%	6,647	100%	6,838	100%	+1.4%
売上総利益	2,825	40.5%	2,716	40.2%	-	-	2,664	38.9%	▲1.9%
販管費	1,858	26.6%	1,824	27.0%	-	-	1,894	27.7%	+3.8%
営業利益	967	13.8%	892	13.2%	694	12.2%	769	11.2%	▲13.7%
経常利益	1,008	14.4%	868	12.8%	700	12.4%	795	11.6%	▲8.4%
親会社に帰属する 中間純利益	686	9.8%	582	8.6%	487	8.3%	554	8.1%	▲4.9%
1株当たり中間純利益	292円00銭		246円27銭		205円69銭		233円70銭		

四半期別業績

DAYTONA[®]

24年2Q期間は販管費増により営業利益は減少したものの、それ以外は前四半期を超えることができた。
24年2Q累計ではまだ前同四半期を超えるまで至っていない。

単位：百万円	2023年 12月期					2024年 12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	3,172	3,572	3,700	3,515	13,961	2,979	3,858			
売上総利益	1,260	1,456	1,478	1,256	5,452	1,171	1,492			
販管費	917	907	958	971	3,753	928	966			
営業利益	343	548	520	285	1,698	243	526			
経常利益	302	565	570	309	1,749	245	549			
親会社に帰属する 当期純利益	206	375	412	186	1,181	173	380			

セグメント別業績

DAYTONA

国内拠点卸売は1Q比で復調ながらも前四半期比未達。小売はPIT体制強化のため販管費増。
アジア拠点卸売は前四半期比83%増とさらに好調。その他は利益率改善による利益増。

単位：百万円		2023年 12月期				2024年 12月期			
		1Q	2Q		2Q累計	1Q	2Q	2Q累計	前四半期比
国内拠点卸売事業	売上高	2,343	2,639		4,983	1,984	2,780	4,765	▲4.4%
	利益	238	407		645	78	346	425	▲34.1%
アジア拠点卸売事業	売上高	217	268		486	397	428	826	69.8%
	利益	56	73		130	115	116	231	77.8%
小売事業	売上高	553	607		1,161	527	594	1,122	▲3.3%
	利益	26	47		73	20	35	56	▲23.4%
その他事業	売上高	87	91		178	91	81	172	▲3.8%
	利益	9	10		20	12	17	29	45.1%
内部売上高又は振替高		-28	-35		-64	-22	-25	-47	-
セグメント間取引消去	全社費用	12	9		21	8	8	16	-
合計	売上高	3,172	3,572		6,745	2,979	3,858	6,838	1.3%
	利益	343	548		892	243	526	769	▲13.7%

DAYTONA[®]

会社概要

主要事業

DAYTONA[®]

売上高の構成比は国内拠点卸売事業が74%、アジア拠点卸売事業が7%

自社で企画・開発した商品を中心に二輪車用パーツ・用品を約12,000点ラインナップ

国内拠点卸売事業

約12,000点の商品をラインナップ
大手Eコマース向けを強化



- バイクツーリング用品
- バイクメンテナンス用品
- 新型バイク・人気車種へのカスタマイズ用品
- アウトドア用品
- Eモビリティ用品

アジア拠点卸売事業

パーツ販売店に直接販売
取扱店舗は約3,000店



- 2007年設立
インドネシアジャワ島を
中心に販売網整備
- 125ccクラススクーター用の
補修パーツの販売が主力

主要事業

DAYTONA®

売上高の構成比は小売事業が17%、その他が3%

小売事業はライコランド2店舗のフランチャイジーやオフロードバイク用品店2店舗を展開

その他は太陽光発電の売電事業やバイク等のリユース事業を展開

小売事業

オイル・部品交換など
ライダーのサービス拠点



4店舗



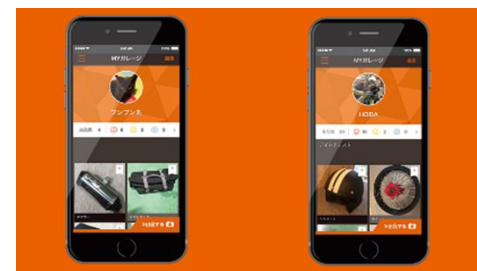
*ライコランド柏店・埼玉店は株式会社コシダテックのフランチャイジーとして、当社が運営

その他

脱炭素・循環型社会に向けた取組み



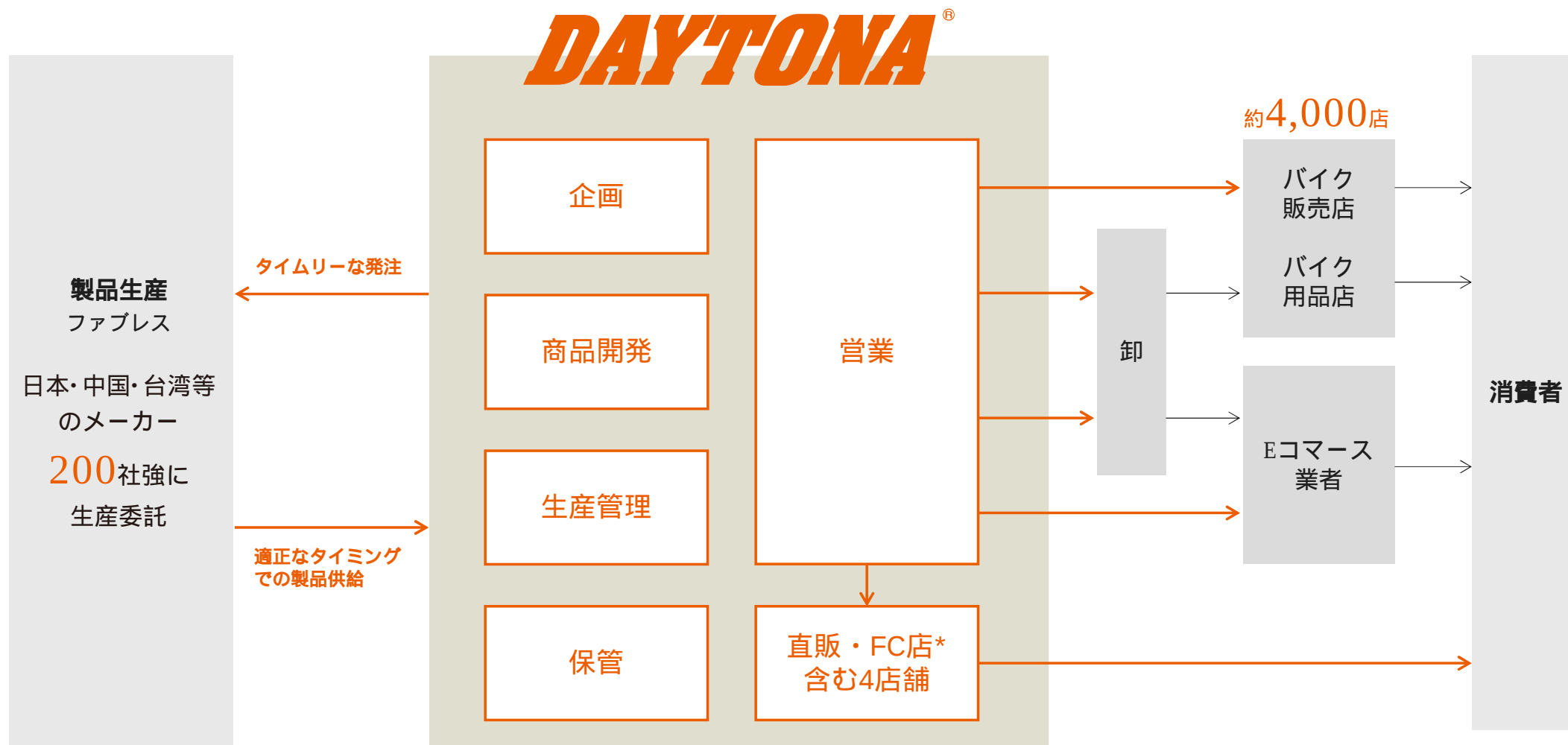
- 太陽光発電事業
本社倉庫天井の断熱化
からスタート
- 太陽光発電は本社屋上と敷地内、
静岡県沼津市、愛知県設楽町に
合計2,050kwの発電設備を展開



- リユースWEB事業

ビジネスの流れ

DAYTONA[®]



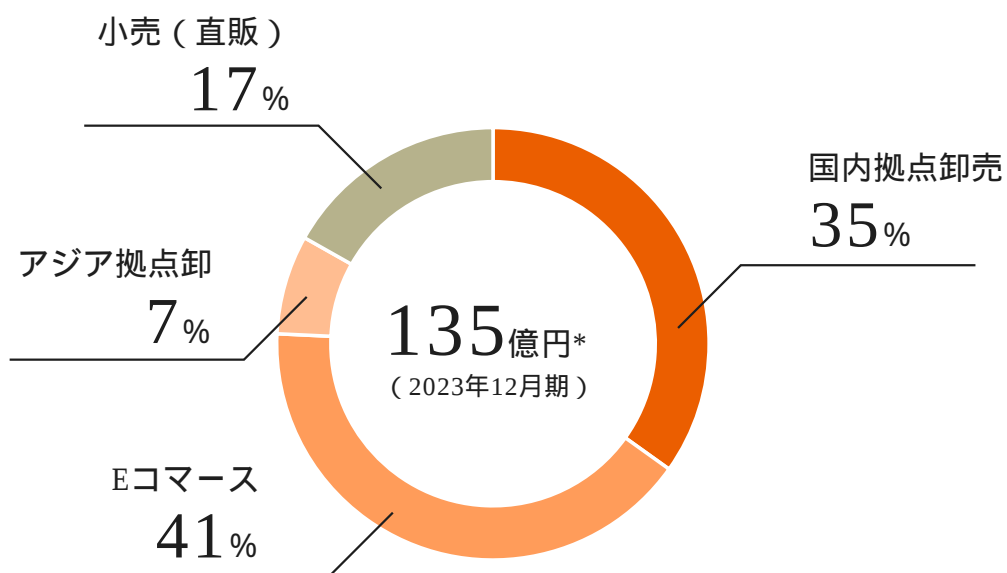
*FC店：フランチャイジー店

販売先・ポジショニング

DAYTONA®

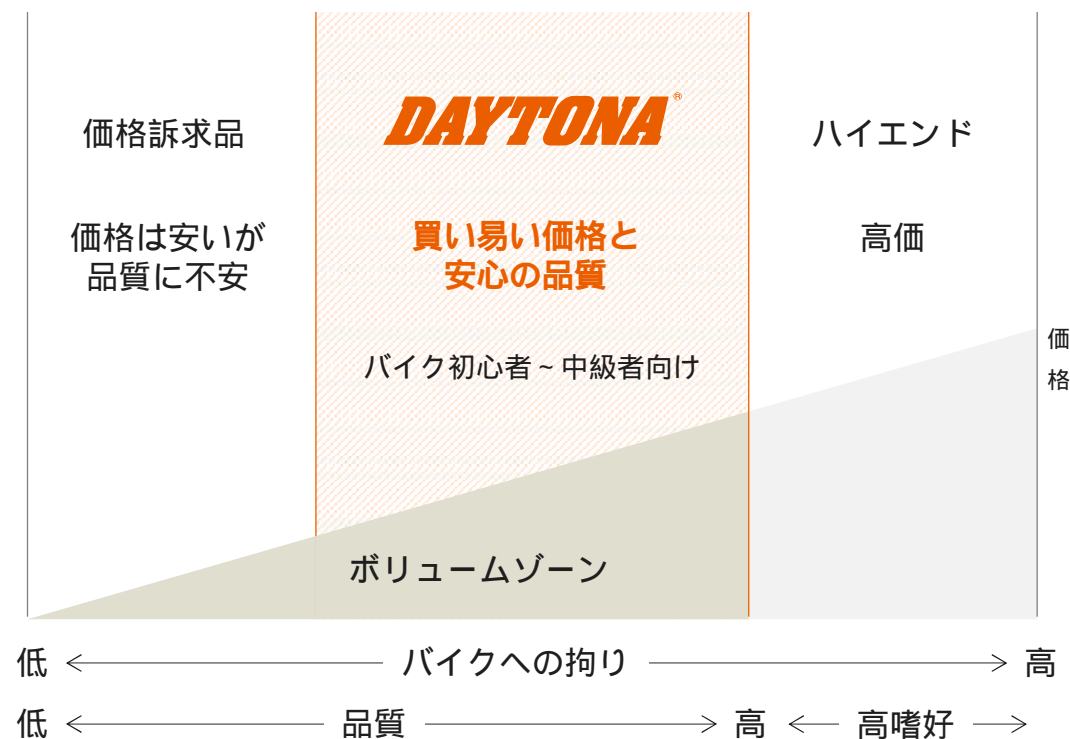
バイク部品・用品のうち35%が販売店・用品店向け卸売、約40%がEコマース売上
買いやすい価格帯で安心の品質を提供

バイク部品・用品売上高*



*売上高はその他事業3.8億円（太陽光発電等）を除いたもの

ポジショニング



注意事項とお問合せ先



将来予測に関する注意事項

本資料に掲載されている業績目標や計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものであります。従いまして、その後の状況の変化要因により、将来の業績結果が記載内容と大きく異なる結果となる可能性がございます。

本資料は投資家の皆様各自でのご判断と責任においてご利用いただくことを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任を負いませんことをご承知ください。

IRに関するお問合せ先

東証スタンダード 7228

株式会社 デイトナ

管理部経理グループ IR担当

TEL: 0538-84-2200

E-mail: ir@daytona.co.jp

URL: <https://corporate.daytona.co.jp/ja/index.html>